

2 令和2年観光入込客等調査結果の概要

(1) 全体概況

令和2年の京都府域（京都市を除く地域）における観光入込客数等について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言の発出や外出自粛の要請が行われ、多くの観光施設で閉館、休業、入場制限等が行われたこと、花火大会や祭りなどのイベントが中止になったこと、外国人の入国制限等の措置がとられたことなどから、前年に比べ大幅に減少した。

- 京都市を除く府域の観光入込客数は約1,626万人となった。
→令和元年の入込客数（約2,078万人）から大幅に減少。（前年比78%）

- 京都市を除く府域の観光消費額は約603億円となった。
→令和元年の観光消費額（約909億円）から大幅に減少。（前年比66%）

※令和2年以降の調査から、各項目の数値算出の基準を見直した。（1頁(4)のとおり）

(2) もうひとつの京都エリア別増減要因（推定）

<竹の里・乙訓エリア>

(向日市、長岡京市、大山崎町)

新型コロナウイルス感染症の影響による観光施設の閉鎖、イベントの中止等が要因で、年間の竹の里・乙訓エリアにおける観光入込客数は大きく減少した。一方、大河ドラマ放映に伴いメディア露出が増えた明智光秀ゆかりの地（長岡京市）などでは、観光入込客数が増加した地点もある。

<お茶の京都エリア>

(宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町、木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村)

新型コロナウイルス感染症の影響による観光施設の閉鎖、イベントの中止等が要因で、年間のお茶の京都エリアにおける観光入込客数は大きく減少した。一方、ハイキングコースやキャンプ施設、ゴルフ場など屋外利用の施設では、観光入込客数が増加した地点もある。

<森の京都エリア>

(亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市)

新型コロナウイルス感染症の影響により観光施設の閉鎖、イベントの中止等が要因で、年間の森の京都エリアにおける観光入込客数は大きく減少した。一方、令和2年1月にサンガスタジアムや大河ドラマ館（亀岡市）そして福知山光秀ミュージアム（福知山市）がオープンしたこと、大河ドラマ放映に伴い明智光秀ゆかりの地（亀岡市、福知山市）のメディア露出が増えたこと、屋外施設、自然体験が好まれたことなどにより、観光入込客数が増加した地点もある。

<海の京都エリア>

(綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、与謝野町、伊根町、京丹後市)

新型コロナウイルス感染症の影響による観光施設の閉鎖、イベントの中止やエリア内の海水浴場の一部開設中止が要因で、年間の海の京都エリアにおける観光入込客数は大きく減少した。一方、開設した海水浴場では、屋外での観光形態が好まれたことや、開設中止した他の海水浴場から利用客が流入したことなどにより、観光入込客数が増加した地点もある。